

第9回 インフラメンテナンス大賞

インフラメンテナンスで日本の国土を守る



インフラメンテナンス大賞とは

日本国内のインフラのメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に実施するものです。

【写真提供】 山崎エリナ(やまさき・えりな)

写真家 兵庫県神戸市出身。パリを拠点に3年間の写真活動に専念する。40ヵ国以上を旅して撮影を続け、エッセイを執筆、写真集多数出版。2018～2024年は「山崎エリナ写真展 インフラメンテナンス」を北海道、福島、新潟、大阪、東京ビッグサイト(社会インフラテック)など全国各地で開催。橋梁、トンネル、道路のメンテナンス現場を撮影した写真による広報活動は、第3回インフラメンテナンス大賞 優秀賞を受賞。2022年度にはこれまでの取り組みの成果が評価され、土木学会のインフラメンテナンス 特別賞を受賞。土木関連写真集に「インフラメンテナンス～日本列島365日、道路はこうして守られている～」、『Civil Engineers 土木の肖像』、『トンネル誕生』、『鉄に生きる』、『アクアライン～知られざる姿～』、『ローカルゼネコンの素顔』、『東京下水道 設備創造』などがある。現場の技術者たちへのエールを込めて作詞作曲・歌を担当した曲「この空の下で」(ヤマサキエリナ)が世界で音楽配信中。

令和7年7月16日(水) 締切

エントリーはWEBから

インフラメンテナンス大賞



第8回「インフラメンテナンス大賞」大臣賞 受賞案件



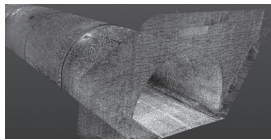
内閣総理大臣賞

上下水道事業のDX:ビッグデータ×AI
による管路リスクの予測診断
Fracta Japan株式会社



総務大臣賞

業務DXロボットugo(ユーゴー)を使ったデータセンター設備点検業務の自動化/遠隔化
株式会社NTTデータ



情報通信技術の優れた活用に関する 総務大臣賞

トンネル覆工展開図自動作成システム
株式会社 伸浩技建



第8回の大臣賞、特別賞、優秀賞の
各案件はこちらからご覧いただけます。



農林水産大臣賞

CAPS(先行排水情報共有システム)の
導入によるクリーク先行排水の広域化促進
筑後川下流域農業開発事業促進協議会



農林水産大臣賞

地域住民と一体となった
農業水利施設の維持管理
香川川水土地改良区



農林水産大臣賞

サブマリンクリーナー工法による水質環境に
配慮した係留施設や水域施設のメンテナンス
大石建設株式会社



経済産業大臣賞

Mobile Mapping Systemを活用した
配電設備の点検業務高度化による効率化
中国電力ネットワーク株式会社



経済産業大臣賞

ガス用ダクタイル鉄管を対象とした非開削入
替工法「STREAM工法」とその関連技術の開発
東邦ガスネットワーク株式会社



国土交通大臣賞

三条市 社会資本に係る
包括的維持管理業務(嵐北地区)
パシフィックコンサルタンツ株式会社



国土交通大臣賞

KOSEN型産官学プラス地域共同インフ
ラメンテナンス人材育成システムの構築
REIM産学連携コンソーシアム



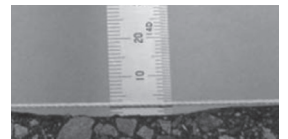
国土交通大臣賞

港湾コンクリート構造 高性能型塗装
「ワンダーコーティングシステムW-MG」
東洋建設株式会社



環境大臣賞

廃棄物最終処分場の機能検査者育成
特定非営利活動法人
最終処分場技術システム研究協会



防衛大臣賞

耐流動性を高めた舗装技術
(エプロンの補修事例)
ニチレキ株式会社

募集要項

趣旨

国民生活やあらゆる社会経済活動は、道路・鉄道・港湾・空港・電力・ガス等の産業基盤や上下水道・公園・学校等の生活基盤、治山治水といった国土保全のための基盤、その他の国土、都市や農山漁村を形成するインフラによって支えられています。

これらのインフラの老朽化が今後も進行していく中で、インフラによってもたらされる我が国の活力や生活、環境、景観、安全・安心の機能を維持していくためには、インフラのメンテナンスに国全体で取り組む必要があります。

この表彰は、我が国のインフラが直面する老朽化やその対策に必要なとなる担い手不足の問題に対応して、インフラメンテナンスの現場における工夫やメンテナンスを支える活動、インフラメンテナンスの効果的・効率的な実施を実現した研究・技術開発の優れた成果を収めた取組の関係者を表彰するものです。

表彰の対象

以下の①～③の3つの部門において、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた効果・実績を挙げた取組や技術開発を行った者(個人及び施設管理者・企業・団体等の活動グループ)

① メンテナンス実施現場における工夫部門

施設管理者が管理するインフラについて、当該施設管理者自ら又は委任、委託等を受けた企業、団体等が行うメンテナンス活動における工夫(②に該当するものを除く)

② メンテナンスを支える活動部門

①の取組以外で、市民活動や人材育成等のインフラ機能の維持に貢献するために行う活動(③に該当するものを除く)

③ 技術開発部門

調査・計測手法、計画・設計手法、施工技術、施工システム、維持管理手法(点検・診断技術、モニタリング技術を含む)、材料・製品、機械、維持管理データ管理におけるインフラメンテナンスを効果的・効率的に改善する研究・技術開発

表彰の種類

- 内閣総理大臣賞(全部門から1件)
- 総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、防衛大臣賞(原則各省別の部門ごとに1件、計24件)
- 情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞(1件)
- 特別賞(8件以内)
- 優秀賞(特別賞と合わせて最大32件程度)

応募期間

令和7年5月14日(水)から7月16日(水)

※応募期間中にWEBフォームでの提出を完了してください。

受賞者の発表

受賞者の発表は令和7年度冬頃を予定しています。受賞者及び受賞内容については、連絡担当者あてに通知します。

※受賞者に対して表彰式を行います。表彰式等の詳細については追って公表します。

応募方法

応募はWEBフォームからの受付のみとなります。

[WEBフォームよりエントリー]

WEBフォーム上にて応募者情報の登録及び応募書類のアップロードをお願いします。以下のホームページよりログインの上、作成した応募書類をフォーム上にてアップロードしてください。

ホームページ: <https://www.im-award-form.jp/>



お問合せ先

国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課

インフラメンテナンス大賞担当

電話番号:03-5253-8912 メールアドレス:hqt-taisho@gxb.mlit.go.jp